

これからの時代を生きる 子どもたちのために

学校 家庭 地域が
心を合わせて
子どもを育む



コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクール (地域とともにある学校づくり)



- ・委員 20名以内
(保護者 有識者 地域住民 教職員 コーディネーター)
- ・年間5回程度の開催

地域との連携と協働

目標・ビジョン・情報の共有

子どもには、
地域には、
どんなよいと
ころがあるか。
どんな課題
があるか

こんな子どもに
育って欲しい
こんな学校を作り
たい
どのような地域に
していくか

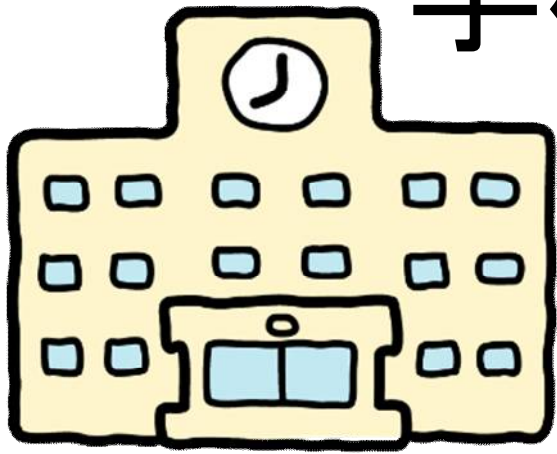
保護者

学校

地域



学校運営への参画・協働



思いや願い

知恵と力

ともに汗を流そう！



保護者

地域住民

小中一貫教育の実現 おくのキャンパス

9年間のスパンの中で
目標を同じにして
成長を支援していく

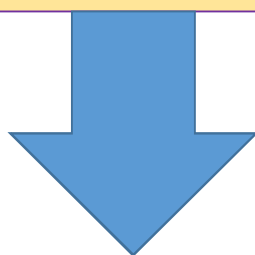


地域人材や資源等を生かした学校運営

- 開かれた教育課程
- 教育活動の工夫

- ・家庭・地域社会の関係者を活用した授業づくり
- ・地域の現状や課題を捉えた教育活動

学びの協働



ともに学び, ともに育つ

ESD

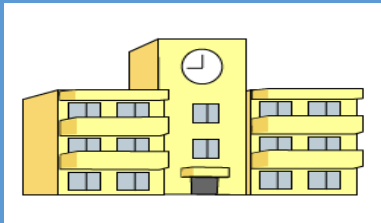
- 教科を越えた教育課程全体の取り組みを通じて、子ども一人一人が自然環境・地域の将来等を自らの課題として捉え、解決に向けて自分のできることを考え実践していく。

学校と地域はパートナー



コミュニティ・スクール

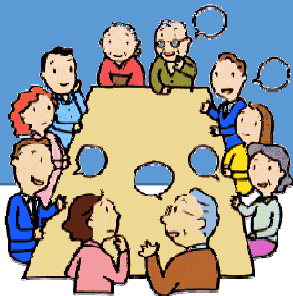
学校



地域連携担当教職員

- ・学校側の窓口
- ・各種連絡調整

学校運営協議会



共有の目標



連携・協働

両輪となって

学校を核としたコミュニティ

地域



コーディネーター

- ・地域側の窓口
- ・学校支援・土曜の教育活動支援、家庭教育支援等、地域活動への参加
- ・ボランティアの確保

地域学校協働本部

ゆるやかなネットワーク

地区社協

PTA

地域住民
自治会
青少年

NPO
各種学校
企業

文化
スポーツ
団体

コミュニティ・スクールを始めるにあたって

- 人と人とのネットワーク
- 「子どもの学びをより充実させる」という視点
- できる人ができる範囲で